

自分らしく生きる、終活アドバイザー

春号

Vol.43

2024

# ら・し・さ 通信

｜特集｜

NPO法人ら・し・さ創立20周年記念講演会 報告  
「終活アドバイザー検索システム」始動！

｜終活広場｜

終活体験談  
終活川柳

これからのセミナー・イベント



## 04 講演

講演の前座を務めたのは介護亭楽珍氏、演目は『三途の川の渡り方』です。ケアマネージャーとしての介護経験を活かした創作落語は、あるあるネタのオンパレードで、会場が笑いの渦となりました。「死を見つめるということは、そこまでどうやって生きるかを考える。終わりの時間があるから、今の時間を大切に自分らしく生きる」この言葉が正に終活の要点だと、再確認出来ました。

会場が暗くなり、萬田緑平先生が登場。先生は、在宅緩和ケア医としてこれまで約1,400名の看取りに関わってこられました。演題は『最後まで目一杯生きる』です。ご家族に囲まれ最後に看取られる様子が次々とスクリーンに映し出されました。終末期の患者さんやご家族に悲壮感が無く、それどころか、お互い「ありがとう」と穏やかに暖かく清々しい！先生は、映像を見ながら穏やかな声で次のような事を語られました。



「三途の川の渡り方」介護亭楽珍氏

『本来、医療は本人の為のもの。家族の望みや医師の勧めで人生の最終章を決めるのではなく、本人の意思を周りは徹底的に尊重する。死ぬのを手伝うのではなく、生きるのを手伝う。「今まで付き合ってくれてありがとう」と言える時、今、言っておこう。』  
逝く人と送る人両方が幸せになれる大切な言葉だと気づかされました。

感動の連続で、私も含め大勢の方が涙を流しながら傾聴していました。このご講演は古希を迎えた私にとっての道しるべとなりました。(ら・し・さ会員 吉田公子記)

## 内容

開催日時：2023年9月9日(土) 14:00～17:00

1. 理事長あいさつ 理事長 若色信悟
2. 来賓あいさつ 日本FP協会 専務理事 千葉商科大学 教授 伊藤宏一氏
3. 「ら・し・さの歩み」20年 副理事長 山田静江
4. 講演

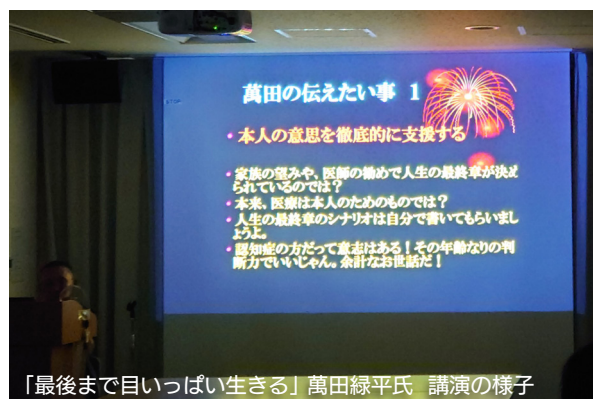
前座：落語「三途の川の渡り方」

介護亭楽珍氏

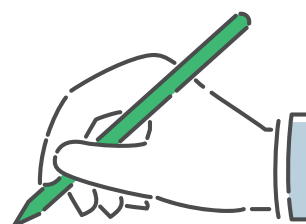
記念講演：「最後まで目いっぱい生きる」

緩和ケア医 萬田緑平氏

司会 石原敬子(ら・し・さ理事)



「最後まで目いっぱい生きる」萬田緑平氏 講演の様子



# NPO法人ら・し・さ創立20周年記念講演会

## 01 理事長あいさつ (理事長 若色信悟)

20年前にスタートし、人生後半期を「自分らしく」生きるための情報を提供してきた私たちは、創設翌年にライフプランに根差したエンディングノートを開発し、この分野での基本を築き上げました。時間が経つにつれ、「終活」という言葉が広まり、2016年には終活アドバイザー協会を発足させ、現在では約4,300名の協会認定終活アドバイザーを擁しています。人生の後半期を安心して充実したものにするためには、これからも社会に対して積極的に理解を求め、終活アドバイザーの認知度とブランド力を高めていく必要があります。これまでのご支援に深く感謝し、今後ともご指導とご鞭撻を賜り、信用と信頼の団体としてさらに前進していくことを心から願っています。

## 02 来賓あいさつ (日本FP協会専務理事 千葉商科大学教授 伊藤宏一氏)

創立20周年おめでとうございます。「ら・し・さ」のこれまでの素晴らしい活動に敬意を表します。ライフプランと資産設計はファイナンシャル・プランニングの根底ですが、すでに制度化された若者への教育とともに、さらにシニアに対しても、資産運用の教育と相談体制の確立が重要な課題となっています。人生後半期の暮らしとマネーに関する情報発信を続ける貴会に期待します。



## 03 「ら・し・さの歩み」20年 (副理事長 山田静江)

創設時から運営に関わっていましたが、あっという間の20年でした。ターニングポイントは2008年に朝日新聞で当会のノート（ら・し・さノート®の前身である「ラストプランニングノート」）が取り上げられ、全国から多くの方の注文を受けたこと。このあと、終活やエンディングノートが社会に認知されるようになりまし

た。映像でら・し・さの歩み20年を振り返りました。（以上、事務局記）

### NPO法人ら・し・さ 20年のあゆみ

- 2003年 NPO法人ら・し・さ設立
  - 2004年 実質的な活動スタート  
10/12 「ラスト・プランニングノート」発行
  - 2005年 団体名を「NPO法人ら・し・さ」に改称
  - 2008年 5/12 「活用ガイド」発行   
ノートを書くための手引書  
朝日新聞記事で、ノートの注文殺到
  - 2009年 「終活」という言葉が話題に
  - 2011年 「東日本大震災」 多世代から注目される
  - 2012年 7/8 「親亡きあとの支援ハンドブック」発行   
知的能力障がいの子がいる親のためのサポートブック
  - 2014年 「ら・し・さ®の終活講座」スタート
  - 2015年 「ら・し・さノート®」に名称変更   
身じまいリスト・住まいの終活・ペットについて
  - 2016年 「終活アドバイザー協会」設立
- 終活アドバイザー協会会員数 **4,360人** (2023年8月末現在)



# 「終活アドバイザー」 検索システム」始動！



<https://search.shukatsu-ad.com/>

終活アドバイザー探し、  
これで簡単！

「信頼できる終活アドバイザーはどうやって探せばいいの？」という声をいただく中、終活アドバイザー協会が、知識や経験を活かす協会会員と、支援が必要な方々を結ぶ新たなサービス、終活アドバイザー協会会員検索サイト「終活アドバイザーを探す」がスタートしました。

「終活アドバイザーを探す」は、対応地域や氏名、業務内容などキーワードを入力して検索。連絡先や保有資格、対応分野、料金などの詳細情報を確認し、自分にぴったりのアドバイザーを見つけましょう。

**知識を活かせる場所がここに！**

「終活アドバイザーを探す」で、自分の得意分野をアピールして仕事につながるチャンス。協会は仕事の斡旋・紹介を行っていないため、信頼性と責任感をもって活動いただける方を



「協会会員一覧」では…

東京 終活花子  
都道府県と名前のみ

相談したいけど  
連絡先が  
わからないなあ…



「終活アドバイザーを探す」では…

東京 埼玉 終活花子  
090- ××× - ×××  
hanako@ ×× .com  
エンディングノートの書  
き方に自信があります



この人に  
相談しよう！



※協会が仕事を直接斡旋・紹介するものではありません  
※本検索システムを通して会員が、支援が必要な方から相談を受け  
た場合、それは会員の責任によって行われるもので、協会が責任を  
負うものではありません

**Q** / 今ある協会会員一覧と  
何が違うの？

**A** / 掲載できる情報量が違います。  
「会員一覧」は、都道府県と氏  
名だけの掲載ですが、「終活ア  
ドバイザーを探す」は、その  
他に得意分野や連絡先も掲載  
できます。

歓迎しています。

検索条件には細かい内容を登録することが  
可能で、氏名やフリガナ、性別、相談対応地  
域、オンライン対応の可否などが含まれます。  
終活アドバイザーとしての知識や経験を提供  
し、必要としている方々に役立つ存在になり  
ましょう。なお、登録には登録料が必要とな  
ります。詳細は会員専用ページにてご確認く  
ださい。



# 終活広場

会員からの投稿ページです  
会員が実際に体験した終活に関する体験談や、  
終活体験談と終活川柳をご紹介します



えっ、  
おばあちゃんの  
建物の登記、  
まだ  
残ってるやん！

この夏、義父が亡くなりました。

義母は3年前にすでに他界していたので、法定相続人は私の妻と義姉の二人でしたが、義姉が相続放棄をしたため、妻が全ての財産を相続しました。相続登記も無事に終わり、内容確認や相続税申告などのため、妻が相続した実家の土地と建物の登記簿謄本を請求しようとして妻と二人で法務局に行ったところ、信じられないことが発覚したのです。

## 法務局の仕事って何!?

登記簿謄本を待っていると、窓口の担当者が見え方を呼び出し、意味不明の話を始めました。

担当者「土地と建物の登記簿謄本を一通ずつ請求されていますが、建物はどちらの建物ですか？」

妻の実家は、1階が学習塾と賃貸住宅、2〜3階が自宅だったので、最初はそこかと思いました。





我々「どちらの建物とはどういう意味ですか？建物は1棟しかありませんが…」

担当者「詳しいことは秘匿性があるのでお伝えできませんが、どちらの建物ですか？」

我々「詳しいことを教えていただかなければ、どちらと言われても答えようがありません。」

妻と私も業を煮やし、しばらく押し問答が続きました。担当者は上司に相談に行ったようで、しばらくして上司と一緒に戻ってきました。

上司「確かにご判断できないと思いますので、ここだけの話ということで『どちらの』の意味の内容を示す登記情報をお見せします。」

## 滅失登記不備に 名前違い

見せられた登記情報では、同じ土地の上に、妻が相続した実家のほ

かに、取り壊したはずの、妻の祖母が生前開業していた病院の登記が残っていたのです。要するに、妻の実家を建築する際に解体した祖母の病院が滅失登記されていたのでした。

その病院の登記簿謄本を取得したところ、驚いたことに記載されている妻の祖母の名前が全く別人の名前になっていることも分かりました。

「登記申請する側が自分の名前を間違えるとは思えないので、責任の所在はどこにあるのか」と登記官に問いただすと、「法務局は申請に対して条件が調っていれば受理し登記するだけなので…」とはぐらかされてしまいました。

しかし、さすがに我々の子どもの代まで放置できないため、病院の「滅失登記」を申請することにしました。とは言え、名前が別人で

あることや、当時の解体業者の解体証明書がないことなどハードルは高く、いま、知人の土地家屋調査士さんと一緒に必要書類を揃えるべく作業を進めています。【Be Continued...】

### この人に聞きました

原田 広輔 (兵庫県在住)  
2016年頃から妻の実家の終活を妻と共にやることになったことをきっかけに、2021年に終活アドバイザー認定。2022年には1級FP技能士、CFP®を取得し開業。現在は終活、相続などで活動中。

## 終活川柳

終活だって 新しい始まり 楽しもうよ

(静岡県 愛)

遺言に 秘密のレシピ 残そうかな

(静岡県 愛)

断捨離をしても「推し活」やめられぬ

(埼玉県 チェリー)





体験談②

# 私・父母の終活

父の死亡後の手続きは、戸籍謄本の取得を除けば、とてもスムーズに行うことができた。父が預貯金

口座や自宅不動産、年金関係の情報などの一覧表を作成してくれていたからだ。几帳面な性格だったこともあるが、お金関係のことが苦手な母が困らないようにと準備していたようだ。

こういった準備のほかに、父の終活で見事だったなと思うのは、私たちが学生の頃から、「お父さんの預貯金はお母さんが長生きしても困らないためのもの。お前たち子どもものではないから」と、親のお金をあてにすることを戒め

ていたことだ。遺言以上の教育的な効果があったと言える。

また「貧乏人の子だくさん」だったわが家は、衣服はお下がり、外食や旅行はしないなど、かなりの節約家だった。しかし、父が体調不良で50代半ばに早期退職して、退職金を手にした後には、母との旅行にはお金をかけていた。フルムーンパスができた後には、2回ほど日本一周旅行にも出かけていた。父は60歳の若さで亡くなってしまうが、この旅行は夫婦の楽しい思い出となったようだ。人生を楽しむのも終活のひとつということを教えてもらった。

退職金のおかげで大学に行けた私への「大学で学ぶからには、家族や他の人の役に立つことを心掛けるように」という指導も、長い目で見れば母のための終活だ。

また父は生前、母に「再婚したら遺族年金もらえなくなるよ」と話していたとか。母の生活を心配していたのだろう。でも、ちよっぴり焼きもちもあつたかも。そのことを話すときの母は少女のように嬉しそうに微笑ましい。

一方の母は現在96歳。近くに住む兄や妹、ご近所の方に見守られながら元気に一人で暮らしている。若い頃は病気もしたが、今は血圧の薬を飲んでいくくらい。かかりつけ医にも「健康です」と、お墨付きをもらっているらしい。「元気で長生きするには努力が必要なの」と、ストレッチなど毎日の体操は欠かさず、食事も塩分な



どに気を付けている。具合が悪いときには、すぐにかかりつけ医に相談し、マッサージなど自分でも治す努力をしている。教養番組を見たり、人と積極的におしゃべりしたり、認知症対策も万全だ。

元気で長生きを目指すのは、早死にした父の分まで年金をもらうためと、母が幼いときに亡くなった両親（祖父母）の分まで生きるためだ。母には長患いの末に亡くな

った祖母との思い出がほとんどない。祖母が亡くなる直前に家族の目を盗んで祖母の布団に潜り込んだら、「痛いー」と突き飛ばされたのが、最後の記憶とか。

「親が生きているだけで幸せと思いなさい」というのが口癖で、しつけに厳しい母に反発することもあった。しかし、今では母の気持ちも理解できる。

親がない娘にはろくな縁談が来

なかったから、一生独身を覚悟していたぞうだ。しかし母は32歳の時に「バツイチ子持ち、狭い家で義両親との同居」という父と見合い結婚した。理由を尋ねたところ、真面目な公務員で人柄はいいからと紹介された父と会ったときに、この人を幸せにしてあげたい

と思ったぞうだ。父も母を気に入り、つまりお互いひとめぼれだったわけだ。

気に入らないとちゃぶ台をひっくり返すような舅（しゅうと）と果敢に戦いながら、夫婦で働いて建て直したこの家で、父の思い出にひたりながら暮らしたいという強い思いが元気の秘訣のようだ。

ところで私は30歳のときに、市の乳がん検診で再検査となった。当時、娘は1歳と3歳。大病院の再検査でもすぐにはシロとならず、

「もしがんなら余命は半年くらいい

と言われた。検査結果を聞くまでの5日間は、悲しむ暇もなく、娘たちに残す手紙など、やっておくべきことを考えた。

検査の結果は「乳腺炎」。特に治療は不要とのこと。乳がん検査のことを伝えていた知人に結果を報告したときの「それは良かった。これからの人生はおまけみたいなものだから、自由に生きられるね」という言葉が心に沁みだ。

あと何年生きられるかわからないけれど、必要な準備は行った上で、最期まで楽しく悔いなく生きることを目指したい。そして多くの人に自分らしく生きるための終活をすすめていきたい。

### この人に聞きました

山田静江（埼玉県在住）  
ら・し・さ副理事長  
FPとして仕事をしている中で、人生後半期のライフプランの必要性に目覚め、その分野での活動を強化。終活やエンディングノートの普及活動に力を入れている。

終活広場に掲載する

## 投稿募集

会員からの投稿を募集します

採用された方に  
**QUOカード**  
を謹呈！

### ■応募要領

- ・エッセイ…約800字
- ・川柳…ひとり3句まで

★氏名の掲載を希望しない場合は、匿名希望とお書きください（ペンネームも可）

### ■応募方法

郵送 または メール

郵送での応募先：事務局

メールでの応募先：

kanri@ra-shi-sa.jp

### ■次号掲載の締切

2024年3月31日（日）



協会会員の学びと  
交流の場

# 地域サークルの ご案内

地域サークルに関する  
情報はこちらから  
※閲覧にはログインパ  
スワードが必要です



<https://shukatsu-ad.com/member/circle/>

2024年1月現在、全国各地に21の地域サークルがあります。協会では、会員の交流と、地域サークルの設立支援のため、地域を越えたオンライン交流会も開催しています。HPやメール、SNS等でご案内しますので、お気軽にご参加ください。

募集中

## 地域サークル仲間探しの掲示板

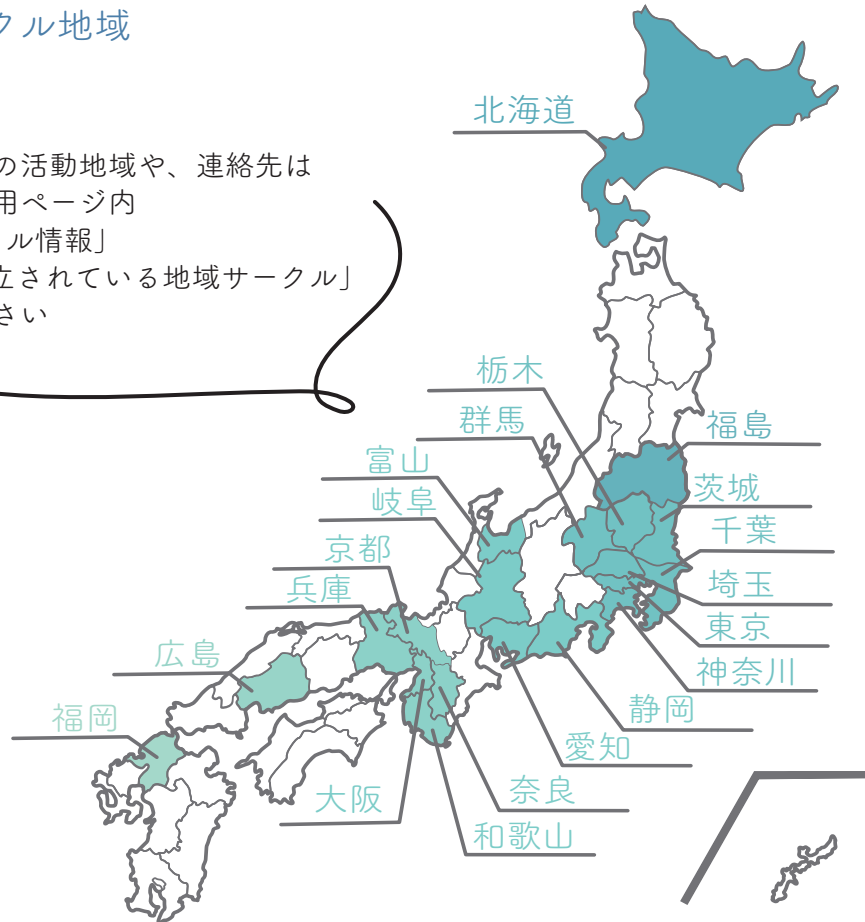
この掲示板は、次のような時に活用できます

- 地域サークルを立ち上げたいとき
- 地域サークルのメンバーを募集したいとき

詳しくは協会会員専用ページ内「地域サークル情報」>「会員掲示板【SHARE info】について」でご確認ください

## 現在設立している サークル地域

各サークルの活動地域や、連絡先は  
協会会員専用ページ内  
「地域サークル情報」  
>「現在設立されている地域サークル」  
をご覧ください





昨年の12月に「終アドローザ Rosa 茨城」を結成いたしました。メンバーはリーダーの私、西山そしてサブリーダーの中島さんは高齢期のメンタルケアを30年されている方、藤田さんはトータルカラーセラピスト・声分析カウンセラーの傍ら終活講座も開催、県北在住の押切さんは開放学級の支援員をしながら真言密教の修行中。歌が上手で婚活業をされている根村さんと計女性5名でのスタートです。メンバーが揃うと女子会の様ですが、皆「終活アドバイザー」として熱い思いを持っています。異業種ならではの企画をそれぞれ持ち寄り、イベント開催に向けて皆で意欲满满です。これからの「終アドローザ Rosa 茨城」の活躍をご期待ください。



**終アドローザ Rosa 茨城** 主な活動地域：茨城県

終アド愛知は、昨年出来たばかりのサークルです。「終活アドバイザーの使命は、高齢者の幸せ支援！」と考え活動していこうと初回の集まりで話し合い、スタートしました。現在メンバー数は7名です。終活アドバイザーの知識を仕事だけでなく、家族や仲間の生活に活かしていきたいと考えている人が集まっています。昨年11月に1回目の勉強会を開催し、その後懇親会を開催しました。勉強会の内容は、メンバー内で順に用意することになっています。例えば、「お墓のこと調べてみました～」と発表したり、「周りにこんなことで困っている人います」など、どんな内容でも良くて、それについてみんなで話し合います。わきあいあいと、想いや情報の共有ができる場・メンバー各人の疑問点を解決できる場にできたらなと思っています。活動場所は主に名古屋ですが、ご興味のある方は是非ご連絡ください。



**終アド愛知** 主な活動地域：愛知県・東海地域

11月に地域サークルを立ち上げました。代表の谷口広子と申します。友人と終活アドバイザー資格を取得したとの話になり、①樹木葬見に行く?とか、終活の話がしやすい場所があればいいね。②これから先、楽しく生きるひとつに、サークルという仲間がいたらいいね。③無理せず、楽しいと思える範囲で、持続可能な範囲で、ぼちぼちやっていきたいね。④近場でゆると…との思いから亀岡近郊とつけました。基本、やりとりは、アナログで(笑)。以上のような話から、地域サークル立ち上げようと意気投合。友人のおうちがお寺さんであるため、キャッチフレーズは「お寺でゆると情報交換」です。これからぼちぼち活動を考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

／ 初めまして ／

**終アド京都(亀岡近郊)**

かめまる

設立 令和5年11月

代表 谷口広子

キャッチコピー

**お寺でゆると情報交換**

**終アド京都** 主な活動地域：亀岡近郊

# イベント

今後も各地でイベントを企画中ですので期待ください！

5/19  
札幌

3/9  
岡山

詳細は13ページ  
東京

6/15  
愛知

6/8  
鹿児島

4/13  
大阪

協会イベント案内

<https://shukatsu-ad.com/events/>



オンライン

終活の基本と  
『ら・し・さノート®』の活用法  
毎月開催

FREE/  
無料

3/10 (日) 19:30 ~ 21:30

4/23 (火) 10:30 ~ 12:30

テキストフォローアップ講座

毎月開催

参加費 /  
1,000円

3/16 (土) 19:30 ~ 21:00

4/26 (金) 19:30 ~ 21:00

3/22 (金) 19:30 ~ 21:00

「ら・し・さノート®」を書いてみよう！～終活ワークショップ～

14日間 繰り返し視聴可能

詳しくはホームページにて！

1 講座 4,400円

会員は **3,300円**

※必ず「会員専用」からお申込みください



最新の動画は  
「老後の住まいと老後資金」

終活アドバイザー協会

<https://shukatsu-ad.com/videos/>





check

イベントの詳細は  
メールマガジン（登録制）・LINE・  
Facebookにてお知らせします



# 開催予定

## 東京

終活講座 …参加費 会員 3,000 円、一般 5,000 円

第 55 回 2/25(日) 14:00 ~ 16:30

「働けない不安に備える！～社会保障と福利厚生と民間保険～」

★オンライン配信あり

サロン 3/19(火) 14:00 ~ 15:45

「相続に必要な戸籍の知識を学ぶ」

参加費 会員 1,500 円、一般 2,000 円

第 56 回 4/20(土) 14:00 ~ 16:30

「資産運用時代の相続に知っておきたい知識」

★オンライン配信あり

特別編  
第 3 回

6/1(土) 14:00 ~ 17:00

第一部：資格を活かして活動している専門家  
第二部：名刺交換会

★オンライン配信は第一部のみ  
参加費 1,000 円

第 57 回 8/4(日) 14:00 ~ 16:30

「シニア世代の金融資産  
～積み立てから取り崩しまでのNISA活用術～」

★オンライン配信あり

講演会 9/29(日) 14:00 ~ 17:00

終活アドバイザー協会講演会

## 岡山

3/9(土) 14:00 ~ 16:40

終活セミナー in 岡山

参加費 会員 1,000 円、一般 2,000 円

## 大阪

4/13(土) 14:00 ~ 16:30

終活アドバイザー協会講演会 in 大阪

参加費 会員 1,000 円、一般 2,000 円

## 北海道

5/19(日) 午後 終活セミナー in 札幌

## 鹿児島

6/8(土) 午前 終活セミナー in 鹿児島

## 愛知

6/15(土) 午後 終活講座 in 名古屋

★今後、千葉県、山口県、栃木県でも開催予定です（日程未定）

3chら・し・さチャンネル



## 動画で学ぼう

過去の講座を、お好きな時間に動画で受講できます。動画配信サービスは、「FPI-」生活経済

研究所長野」のサービスのひとつ(3chら・し・さチャンネル)として提供されています。終活アドバイザー協会会員は割引価格で受講できます。非会員や退会された方、会費未納の方は会員価格でのご利用はできません。

# 自分らしく生きるために！ エンディングノート

定番



## ら・し・さノート®

これまでの人生を振り返り、これからやりたいことを考えながら、財産を把握し、人生の後半期のことを書きとめておくためのノートです。医療や介護が必要になったときの希望や、葬式やお墓のことを記入するページもあります。自分史ノートやエンディングノートとしての役割を持たせることもできます。(全46頁)

**550円(税込)**

活用ガイドと親亡きあとの支援ハンドブックと同時購入でクリアファイルがつきます



## 活用ガイド

ノートを書くときの手引きとなるものが欲しい、という声にお応えして作成した「活用ガイド」は、事例とアドバイス、お役立ち情報満載のガイドブックです。(全48頁)

**770円(税込)**



## 親亡きあとの支援ハンドブック

知的能力障がいのいるお子さんがいる親が、障がいのある子や、そのきょうだいのために何をしておくべきか、考えて行動するための一冊です。(全48頁)

**880円(税込)**

## 🛒 ご注文方法

- ホームページから、ご注文いただけます。  
ホームページからの注文では支払方法の選択ができます。  
◇クレジットカード払い(手数料無料)  
◇コンビニ払い・銀行振込など(手数料負担あり)



FAX、メール、ハガキによるご注文では、以下を明記してください。

1. お名前
  2. ご住所(送付先)
  3. 電話番号
  4. 必要冊数 (ノート●冊、活用ガイド●冊、ハンドブック●冊など)
  5. どこでノートのことを知りましたか
  6. 年代(「60代」など) ※6は差支えなければお書きください
- 支払方法の選択はできません。請求書に記載の支払い方法にてお支払いください(払込手数料の負担あり)。送料は500円です。

※終活アドバイザー協会会員の方が、会員特別価格(ノート10冊以上に適用)で購入される場合には、会員番号をお伝えください。ノート代の割引が適用される場合の送料は1,000円です。



# ら・し・さ 通信

2024年43号(春号)  
2024(令和5)年2月発行



発行 NPO法人ら・し・さ  
終活アドバイザー協会  
〒104-0031  
東京都中央区京橋2-6-10  
宝照ビル3階  
■e-mail  
kanri@ra-shi-sa.jp  
■ホームページ  
NPO法人ら・し・さ  
<https://www.ra-shi-sa.jp/>



終活アドバイザー協会  
<https://shukatsu-ad.com/>



■TEL  
03-6264-4655  
(平日10:00~12:00、  
13:00~16:00)  
■FAX  
03-6264-4656  
(24時間受付)

本誌の無断転載・複製を禁じます。

本誌の内容は、2024年2月現在の情報をもとに構成しています。制度やイベント等は事前のお知らせなしに変更されたり、中止されることがあります。あらかじめご了承ください。



# 終活アドバイザー協会講演会in大阪

2024年 4月 13日 [土]  
14:00~16:45

## 生きるということ、死ぬということ

会場 エル・おおさか 7階 708号室  
大阪府中央区北浜東3-14

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 一般：2,000円 会員：1,000円  
(現金のみ)

第1部 命を語る看取る山伏

第2部 切っても切れないお金(財産)の話を通  
して見えてくるもの

イベントの詳細は、ホームページよりご覧ください  
<https://shukatsu-ad.com/>